

『一望、超伝導検出器 ～実用化を目指した研究開発の最前線～』

超伝導検出器が取り扱う信号、動作原理は多種多様であり、その応用範囲も多岐にわたっている。本研究会では、実用化が進む超伝導検出器として、超伝導量子干渉素子 (SQUID)、超伝導トンネル接合 (STJ) 検出器、超伝導転移端センサ (TES)、超伝導単一光子検出器 (SSPD)、マイクロ波カイネティックインダクタンス検出器 (MKID)、ヘテロダインミキサを取り上げ、研究開発の第一線で活躍する研究者を招き、超伝導検出器による先端計測技術を一望する。

多くの皆様の参加をお待ちしています。

■主催：応用物理学会 超伝導分科会

■日時：2016年12月12日(月) 13:00～17:00

■場所：埼玉大学東京ステーションカレッジ、教室A

(〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 JRサピアタワー9階

地図 <http://www.saitama-u.ac.jp/society/images/tokyo-st.pdf>)

プログラム	
13:00-13:05	開会挨拶 超伝導分科会幹事
13:05-13:40	高温超伝導SQUIDの応用技術 田中 三郎 (豊橋技術科学大学)
13:40-14:15	超伝導トンネル接合 (STJ) アレイX線検出器を用いた先端計測機器開発とその応用展開 浮辺 雅宏 (産業技術総合研究所)
14:15-14:50	γ 線超伝導転移端センタの開発と原子力基盤計測技術 大野 雅史 (東京大学)
14:50-15:20 休憩	
15:20-15:45	進化する超伝導ナノワイヤ単一光子検出技術と応用展開の最新動向 三木 茂人 (情報通信研究機構)
15:45-16:20	MKID とその応用 野口 卓 (国立天文台)
16:20-16:55	テラヘルツ・ヘテロダインセンシングによる天文学 山本 智 (東京大学)
16:55-17:00	閉会挨拶 超伝導分科会幹事

参加費 (当日受付、消費税込) : 超伝導分科会員 2,000 円、応用物理学会員、協賛団体会員 3,000 円、
非会員 4,000 円、学生 1,000 円

申し込み方法 : (1)所属、(2)氏名、(3)連絡先(TEL, E-mail)、(4)会員種別を明記の上、12月5日(月)までに下記幹事宛に電子メールでお申し込み下さい。席に余裕がある場合は当日参加も受け付けますが、資料等の準備がありますのでなるべく期日までにお申し込み下さい。

問合せ・申し込み先 : 寺井 弘高 (NICT) TEL:078-969-2191 e-mail:terai@nict.go.jp
有吉 誠一郎 (豊橋技大) TEL: 0532-44-6908 e-mail:ariyoshi@ens.tut.ac.jp
川山 巖 (阪大) TEL: 06-6879-7983 e-mail:kawayama@ile.osaka-u.ac.jp
石丸 喜康 (SUSTERA) TEL: 045-560-1350 e-mail:ishimaru@sustera.or.jp